介護老人保健施設の在宅復帰支援に関する調査研究事業の調査検討組織 設置要綱

1. 設置目的

一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構は介護老人保健施設の在宅復帰支援に関する調査研究事業の調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計、分析、検証、報告書の作成等の検討を行うため、以下のとおり介護老人保健施設の在宅復帰支援に関する調査研究事業の調査検討組織(以下、「調査検討組織」という。)を設置する。

2. 実施体制

- (1) 本調査検討組織は、産業医科大学教授 松田晋哉氏を委員長とし、その他の委員は以下のとおりとする。
- (2)委員長が必要があると認めるときは、本調査検討組織において、関係者から意見を聴くことができる。

3. 調査検討組織の運営

- (1)調査検討組織の運営は、一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療 経済研究機構が行う。
- (2)前号に定めるもののほか、本調査検討組織の運営に関する事項その他必要な事項については、本調査検討組織が定める。

介護老人保健施設の在宅復帰支援に関する調査研究事業の調査検討組織 委員等

委員長	松田 晋哉 (産業医科大学 公衆衛生学教室 教授)
副委員長	藤野 善久 (産業医科大学 公衆衛生学教室 准教授)
委 員	大河内 二郎(全国老人保健施設協会研修委員長
	介護老人保健施設 竜間ノ郷 施設長)
委 員	丹羽 和夫 (全国老人保健施設協会ご推薦
	介護老人保健施設 まだら園 施設長)

(敬称略、委員については50音順)

【オブザーバー】

- 〇 厚生労働省老健局老人保健課 介護保険データ分析室 松岡輝昌 室長
- 〇 厚生労働省老健局老人保健課 村上有佳 主査
- 〇 厚生労働省老健局老人保健課 米倉なほ 主査

介護老人保健施設の在宅復帰支援に関する調査研究事業(案)

1. 調査の目的

在宅復帰・在宅療養支援機能が期待される老健に長期入所している要介護高齢者や、 退所後医療機関に入院する利用者が多い状況を踏まえて、平均在所日数が長期に及ぶ 老健や、長期入所者の周辺環境の実態、医療機関への入院後の転帰を把握することに より、在宅復帰を阻害する原因を検証するとともに、平成27年度介護報酬改定に向け た社会保障審議会介護給付費分科会等における検討のための基礎資料を得ることを目 的とする。

2. 調査客体

(1) アンケート調査

全国の介護老人保健施設を対象とした悉皆調査(3,700施設程度)。

利用者に関する調査は、調査対象施設に対し、入所者について調査時点の入所者から 1/10 無作為抽出、退所者について直近退所者から 5 名の抽出を依頼。

(2) ヒアリング調査

在宅復帰状況の異なる5~8施設に対する訪問調査。

3. 主な調査項目

- ・施設属性(職員体制、併設サービス等)、在宅復帰支援の取組方針・取組状況、利用者の入退所状況(在宅復帰率・ベッド回転率)、在宅復帰に影響を与える地域の事情
- ・利用者(入所者・退所者)の状態像、周辺環境、入所・退所理由、在宅復帰できた/できなかった理由
- ・退所者の退所後の居所の移動、移動した場合の理由等

4. 調査内容

- (1) アンケート調査は、「施設票」「入所者票」「退所者票」で構成される(いずれも対象施設の職員が記入)。
- (2) ヒアリング調査は、在宅復帰率、ベッド回転率等の要因で分類されるいくつかの 類型毎に、在宅復帰に影響を及ぼす固有の事情等について調査する。

5. 調査方法

- (1) は対象施設への郵送配布・回収による調査、(2) は訪問調査とする。また、(1)
- (2) とは別に、既存統計から入手する地域の人口構造、医療・介護資源等のデータを分析に用いる。

介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査(平成 25 年度調査) 介護老人保健施設の在宅復帰支援に関する調査研究

【①施設票】(案)

■ 回答者の名前と連絡先をご記入ください。

ご担当者氏名		部署·役職	
電 話 番 号		ファクス番号	
施 設 名			
住 所	Ŧ		

- 1. この「介護者人保健施設の在宅復帰支援に関する調査」は、介護者人保健施設の在宅復帰支援機能のあり方の検討のために、全国の介護者人保健施設全施設に対し、在宅復帰の現状とそれに対するご意見をうかがうものです。
- 2. 本表(【①施設票】)に貴施設の概要、在宅復帰支援の取組み等をご記入いただき、また、【②入所者票】【③退所者票】には貴施設の利用者(入所者、退所者)についてご記入いただきます。【②入所者票】【③退所者票】調査対象者の選び方等は、同封の「記入要領」をご参照ください。
- 3. ご回答は匿名化して処理し、施設名がわかるような形で公表することは一切ありません。また利用者のお名前を記入する箇所はありません。
- 4. 本表(【①施設票】)は、必要に応じて、医師、看護・介護職員、相談員等の協力を受けながら、事務 責任者の方がとりまとめください。
- 5.「記入要領」に記載のとおり、この【①施設票】と【②入所者票】【③退所者票】をあわせて、

平成 25 年●月●日(●)

までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。

≪封入する調査票の枚数をご記入ください≫

調査票名	通数	
【①施設票】	1	通
【②入所者票】		通
【③入所者票】		通

6. 本調査に関するご質問は、以下までお問い合わせください。

お問い合わせ先:0000

担当:XX、XX、XX、XX

フリーダイヤル: 0120-XXX-XXX

1. 調査基準日(平成25年10月1日)現在の貴施設の概況

問 1	貴施設の開調	改主体【 ○は1つ】						
01	公立		02	社会福祉法人		03	医療法人	
04	社団・財団	法人	05	その他()			
問 2	貴施設の開記	設年月						
		西暦	_		年		月	
問 3	貴法人が運営	営する 施設【 該当全	てに(
01	病院		02	有床診療所		03	無床診療所	
04	. 介護老人福	冨祉施設 (特養)	05	認知症グループ	プホーム			
06	その他の分	下護施設等 (有料老	人ホー	ーム、サービス付	高齢者向け住宅等	\$)		
07	その他 ()			
問 4	貴法人が運営	営する 事業所・サー	ビス	【該当全てに〇】				
01	訪問看護ス	テーション	02	併設医療機関が	保有する訪問看記	雙事業所		
03	訪問介護		04	訪問リハ		05	短期入所生活	舌・療養介護
06	通所介護((デイサービス)	07	通所リハ(デイ	ケア)	08	その他の居宅	芒サービス
09	地域包括支	援センター	10	居宅介護支援事	業所	11	その他	
問 5	貴施設の 待根	<u>機者数※</u> 【直近の人	数を	ご記入ください】				
		所申込者数」一(「ん		2員」—「入所者	1)			ī
		所の待ち人数を除く						人
問 6	貴施設の定り	員数・利用者数 ·						
		入所		通所介護・	通所リハ	ショー	-トステイ(空	床利用含めず)
入所知	定員数		人	定員数	人	定員数		人
入所者	皆数※1		人	延べ利用者数※2	人	延べ利用	用者数※2	人
(5 5	ラショート)	(人)					

- ※1 基準日 (平成 25 年 10 月 1 日) 現在
- ※2 平成25年9月1ヶ月間の延べ利用者数

問 7	東日本大震災以降、 被災者受入により定員超過	したこ	とがあるか【〇は1つ】			
01	超過したことがある(現在は超過していない)	02	超過したことがある(現在も超過している)		
03	超過したことはない	04	不明			
問8	入所定員の中で、貴施設の 施設運営の観点から	適切と	考えるベッド数			
【記	入上の注意】*「5 人」「80 人」というように、.	人数を	決めて記入 してください	v (×「5~7人」等は不可)		
	*おおよその人数で結構です。					
問 8	-1 緊急時の受入のために、なるべく空けておき	たいと	考えるベッド数	人		
問 8	-2 安定的な施設経営のために、なるべく埋めて	おきた	いと考えるベッド数	人		

問9 次の各ケースについての 継続的な協力関係 がある施設の有無 【同一・関連法人内、同一・関連法人外別に、 協力施設がある箇所に〇 】		
	同一・関連法人内に	
	協力施設あり	協力施設あり
在所者が急変した時の、搬送先の医療機関		
貴施設への新規入所者として、退院患者を紹介してもらう医療機関		
自宅への退所者について相談する居宅介護支援事業所		
貴施設からの退所先として入所者に紹介する特別養護老人ホーム		
貴施設からの退所先として入所者に紹介する有料老人ホーム、サ高住、グループホーム		

問10 ターミナルケアに対する取組み【それぞれいずれかに○】	
施設内に、多職種によるターミナルケアの委員会を設置している	01 設置している 02 設置していない
ターミナルケア対象者本人・家族に、複数回面談して説明を行う	01 複数回行う 02 複数回は行わない
問11 基準日現在、医師が回復の見込みがないと診断した入所者につい して、本人・家族への十分な説明・同意を得ながら看取りのケフ	
加算算定の有無は問わない。	人

2. 調査基準日(平成25年10月1日)現在の職員の配置状況

問 12 貴施設における職員の配置状況 (ショートステイ専従は含まず、兼務は含む)								
	常勤	非常勤※						
	(小数点第1位まで)	(小数点第1位まで)						
医師	. 人	. 人						
歯科医師	. 人	. 人						
看護師	. 人	. 人						
准看護師	. 人	. 人						
介護職員	. 人	. 人						
支援相談員	. 人	. 人						
理学療法士	. 人	. 人						
作業療法士	. 人	. 人						
言語聴覚士	. 人	. 人						
栄養士(栄養士・管理栄養士)	. 人	. 人						
薬剤師	. 人	. 人						
介護支援専門員	. 人	. 人						

[※]常勤換算の上、ご記入ください

02 該当しない

02 該当しない

03 算定なし

03 算定なし

3. 介護報酬の算定状況

11 在宅復帰·在宅療養支援機能加算

12 在宅復帰支援機能加算(介護療養型のみ)

問 13 平成 25 年 9 月現在の施設サービス費【該当全てに○】 **01** 介護保険施設サービス費 (I)(i) または(ii)【従来型】 02 介護保険施設サービス費 (I)(ii) または(iv) 【在宅強化型】 03 介護保険施設サービス費(Ⅱ)または(Ⅲ)【介護療養型】 **04** ユニット型介護保険施設サービス費 (I)(i) または(ii)【従来型】 05 ユニット型介護保険施設サービス費 (I)(ii) または(iv)【在宅強化型】 06 ユニット型介護保険施設サービス費(Ⅱ)または(Ⅲ)【介護療養型】 間 14 平成 25 年 9 月 1 ヶ月の加算の算定状況 01 短期集中リハビリテーション実施加算 01 算定あり⇒]件 02 算定なし 02 認知症短期集中リハビリテーション実施加算 01 算定あり⇒]件 02 算定なし 03 入所前後訪問指導加算 01 算定あり⇒]件 02 算定なし 01 算定あり⇒]件 02 算定なし 04 退所前訪問指導加算 05 退所後訪問指導加算 01 算定あり⇒]件 02 算定なし 01 算定あり⇒]件 02 算定なし 06 退所時指導加算 01 算定あり⇒]件 02 算定なし 07 退所時情報提供加算 08 退所前連携加算 01 算定あり⇒]件 02 算定なし 09 老人訪問介護指示加算 01 算定あり⇒] 件 02 算定なし 10 ターミナルケア加算 01 算定あり⇒]件 02 算定なし

01 算定あり

01 算定あり

4. 調査基準日(平成25年10月1日)における入所者の状況

問 15 基準日現在の入所者※の人数を、以下にご記入ください。※ショートステイ利用者は除く									
(1) 入所者数	人								
(2) 要介護度	要介護1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	不明・申請中			
	人	人	人	人	人	人			
(3) 年齢層	40~64 歳	65~74 歳	75~84 歳	85~94 歳	95 歳以上	平均年齢			
	人	人	人	人	人	歳			
(4) 入所期間	3 ケ月未満	3 ケ月~6 ケ月	6 ケ月~1 年	1年~2年	2年~3年	3年以上			
	人	人	人	人	人	人			
(5) 所得段階	減免あり	減免なし	不明						
	人	人	人						
(6) 医療処置	注射・点滴	経管栄養(胃ろう・経鼻)	インスリン投与	痰の吸引	人工肛門・人工膀胱	酸素療法			
	人	人	人	人	人	人			
	じょく瘡・創傷部処置	人工呼吸器	膀胱洗浄・膀胱留置カテ	浣腸・摘便	疼痛管理				
	人	人	人	人	人	人			
(7) 特定疾患治療研	(7) 特定疾患治療研究事業対象疾患の患者【01~03 いずれかに○】								
	01 対象患者	<u>あり</u>	02 対象患者	なし	03 不明				
	→ 患者数	人							

5. 医療処置の実施方針

問 16 以下のような事例における、医療行為の実施方針【01~07 それぞれにつき、最も近い箇所に○】								
	施設内で医療行為 は行わない(医療 機関に搬送)	医療機関への搬送 を前提に、注射・ 投薬等を行う	経過観察可能な場合、なるべく施設 内で治療する	その他				
01 肺炎を強く疑う状態								
02 尿路感染症を強く疑う状態								
03 帯状疱疹を強く疑う状態								
04 慢性心不全の急性増悪								
05 コントロール不良の糖尿病								
06 胆囊炎								
07蜂窩織炎等の皮膚感染症(帯状疱疹以外)								

6. 入退所の状況(平成25年4月~9月)

問 17 平成 25 年 4 月~9 月における入退所の状況 (ショートステイは含まない)												
	4	月		5 月	6	5 月	7月		8月		9月	
入所者延日数※1												
入所者数※2												
退所者数※3												
退所先内訳 a.自宅 (元の自宅)	()	()	()	()	()	()
b.自宅 (元の自宅以外)	()	()	()	()	()	()
c. 有料老人ホーム、サ高住、GH等	()	()	()	()	()	()
d.回復期リハ病床	()	()	()	()	()	()
e.亜急性期病床	()	()	()	()	()	()
f.回復期・亜急性期以外の一般病床	()	()	()	()	()	()
g.介護療養病床	()	()	()	()	()	()
h.回復期・介護療養以外の療養病床	()	()	()	()	()	()
i.上記 d~h 以外の病床、病床不明	()	()	()	()	()	()
j.他の老人保健施設	()	()	()	()	()	()
k.特別養護老人ホーム	()	()	()	()	()	()
1.死亡退所	()	()	()	()	()	()
m.その他・不明	()	()	()	()	()	()

- ※1 入所者延日数:月毎の日々の入所者数(毎日24時時点で入所中の人)を合算する。
- ※2 新たに貴施設に入所した人の数。再入所も含む。
- ※3 貴施設から退所した人の数。死亡退所を含む。下段の a.~m. の「退所先内訳」の合計が、この「退 所者数」に一致するようにしてください。

問 18 平成 24 年 4 月の在等	老復帰率・ベッド回転率		
在宅復帰率		ベッド回転率	

7. 在宅復帰支援・在宅療養支援への取り組み

問19 貴施設の在宅復帰支援推進【○は1つ】

- 01 非常に力を入れて推進している
- 02 以前よりは推進している
- 03 意識しているが、推進しているとはいえない 04 在宅復帰支援に力を入れる予定はない

問 20 貴施設における入所時・退所時の支援内容【01~11 のそれぞれにつき、最も近い箇所に○】 **★**については 自字等への退所者に対して実施するかどうかを回答してください

	★については、日七寺への区別有に対して美地するかで J がを回合して \ /			
		積極的に 行う	行うこと もある	ほとんど 行わない
01	入所前後に退所後に生活する居宅等を訪問し、サービス計画を立てる★			_
02	入所前に本人・家族に対して老健施設の役割・機能を説明する			
03	長期入所を希望する人に対し、老健入所が適切ではないことを説明する			
04	長期入所を希望する人に対し、他の適切な支援機関等を紹介する			
05	入所時に退所時期について相談する			
06	入所時に老健を退所した後の生活についての希望・予定を聞く			
07	退所前後に退所後生活する居宅を訪問し、療養上の指導を行う★			
08	退所後に老健へ再入所できることを紹介する★			
09	退所後の居宅サービスの利用について情報提供する★			
10	退所前にカンファレンスを実施する			

		完全導入	一部導入	検討中	予定なし
11	R4 システムを導入している				

問21 貴施設は在宅復帰率の見込み・目標値を定めていますか【○は1つ】

04 20%以下【⇒問 21-1 ~】 05 未定【⇒問 22 ~】

問 21-1 在宅復帰が増えない理由として、どのようなことが考えられますか【該当全てに〇】

01 入所者の重症度が高い

02 自宅で生活・介護できない事例が多い

03 在宅復帰を支援する施設内の人材が不足

04 地域の居宅サービスが不十分

05 地域の有料ホーム・サ高住・グループホーム等が少ない 06 地域の特養に入所する人が多い

07 地域の病院等へ入院する人が多い

08 自宅に帰ることを望まない利用者が多い

09 管理医師が在宅復帰に積極的ではない 10 経営者が在宅復帰に積極的ではない

11 その他(

02 自宅で生活・介護できない事例が多い

03 退所を支援する施設内の人材が不足 04 地域の居宅サービスが不十分 05 地域の有料ホーム・サ高住・グループホーム等が少ない 06 地域の特養が少ない 07 地域で入院できる病床が少ない 08 長期入所を望む利用者が多い 09 管理医師が退所支援に積極的ではない 10 経営者が退所支援に積極的ではない 11 待機者が少ないのでベッドを空ける必要がない 12 経営の安定のために空床を増やしたくない 13 その他(間 23 平成 24 年度改定で設置された、在宅強化型の基本施設サービス費 (I (ii) 又は (iv))、また在宅復帰・ 在宅療養支援機能加算へのご意見についてお聞かせください。 問24 貴施設の在宅復帰支援に関する課題について自由に記入してください。

01 10%以上 [⇒問 23 △] 02 5%~10%程度 [⇒問 23 △] 03 5%以下 [⇒問 22-1 △]

問 22-1 ベッド回転率が上がらない理由として、どのようなことが考えられますか【該当全てに○】

問 22 貴施設はベッド回転率の目標値を定めていますか【○は1つ】

04 未定【⇒問23~】

01 入所者の重症度が高い

施設票は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました

介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査(平成25年度調査) 介護老人保健施設の在宅復帰支援に関する調査研究

【②入所者票】(案)

- ■この【②入所者票】は、調査基準日時点の貴施設の入所者(ショートステイ利用者は除く)から10分の1の人 <u>を無作為抽出</u>し、その方について<u>施設職員の方に</u>ご記入いただくものです。
- ■無作為抽出の方法としては、利用者のお名前(名字ではなく、下のお名前)を五十音順に並べ、「あ」から数え 始めて入所者の 10 分の 1 の人数 (端数切り上げ) を選んでください。詳細は、別添「記入要領」をご参照くださ
- ■この【②入所者票】は、看護・介護職員、ケアマネジャー、相談員等でご協力の上、ご記入ください。

1. 入所時の状況

連番記入欄 「毎班」以面が担合の12日11

		【官理工必要な場合のか記入】	
問1 入所時期	(平成) 年 月		
問 2 入所前の	1. 自宅	2. 医療機関	3. 施設等
居所【1~3のいず れかにO	↓	↓ (以下のいずれかに○)	↓ (以下のいずれかに○)
אנטיובט	【問 4 ~】	21 回復期リハ病床	31 特別養護老人ホーム
		22 亜急性期病床	32 他の老人保健施設
		23回復期・亜急性期以外の一般病床	33 有料ホーム・サ高住・GH
		24 介護療養病床	34 上記以外の施設
		25回復期・介護療養以外の療養病床 ↓	
		26病床不明、上記以外の病床	【問 4 ~】

「2. 医療機関」の場合のみ記入 』

入院の原因 となっていた疾患 【該当全てに〇】

(1)入所

(2)通所

01 肺炎

01 なし (今回初めて)

01 利用実績あり

02 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)

03 骨関節疾患

04 外傷(転倒・骨折)

05 がん (新生物)

06 心臟病

07 認知症 (アルツハイマー病等)

08 パーキンソン病関連疾患 09 その他

04 通所施設なし

田に 1 元の4	
問5入所の物	人汉
【01つ】	

問 4 入所前の

貴施設の利用実

績【O1つ】

01 緊急入所

02 計画的な入所

02 1回あり

02 利用実績なし

03 01.02 いずれでもない

04 不明

問	6	入所目的
[4	人	の事情・家族
の∄	事情	それぞれ該
坐名	>7	1-01

<本人の事情>↓ [該当全てにO]

く家族の事情>↓ 【該当全てにO】 21 介護者の急病、疲労

03 2回以上あり

03 不明

11 リハビリテーション

12 生活場所未定のため、とりあえずの入所

22 レスパイト

13 他施設への入所待ち

23 介護者による虐待

14 病気の療養

15 リピート利用

16 病状の不安定

17 ターミナルケア

24 自宅介護の困難

問 7 入所時の

本人・家族と退所時期について相談

01 した

02しなかった

03 不明

アセスメント [01つ]

入所中の治療・リハ計画、達成目標を設定

01 した

02しなかった

03 不明

本人・家族の退所後の生活場所の希望を聴取

01 した

02しなかった

2. 直近2年間の利用者の居所

(おわかりになる範囲でご記入ください。ご本人やご家族に確認する必要はありません。)

問8 <u>平成23年10月~平成25年9月の2年間のご本人の居所</u>について、以下の該当する箇所にチェック (✓) をつけてください。

貴施設が<u>把握されていない期間については、「E 不明・把握していない」の行にチェック (✓)</u>をつけてください。 月の途中の移動等は、厳密に考えずに移動前後の場所両方にチェックをつけていただいて結構です。

অেরেরেরেরের 【記入例】 এরেরেরেরের

平成 23 年以前のことは知らない。

平成24年1月から4月まで病院に入院。

病院を退院後すぐに当施設(老健)に入所して、リハビリを実施し、平成24年11月に自宅退所。

当施設ショートステイ等を利用しながら自宅で生活していたが、平成 25 年 5 月に再入所し、現在に至る。

	平成 23 年			平成 24 年								
	10月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5 月	6月	7月	8月	9月
A 貴施設								✓	✓	✓	✓	✓
B 自宅(貴施設の短期入所療養介護も含む)												
C 医療機関				✓	✓	✓	✓					
D 上記 ABC 以外												
E 不明・把握していない	1	✓	✓									

	平	平成 24 年			平成 25 年							
	10月	11月	12 月	1月	2月	3 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
A 貴施設	1							✓	✓	✓	√	✓
B 自宅(貴施設の短期入所療養介護も含む)		✓	✓	✓	✓	✓	✓					
C 医療機関												
D 上記 ABC 以外												
E 不明・把握していない												

യയയയെ 【記入欄】 യയയയ

該当箇所にチェック(マ)を入れてください。わからない場合は、「E不明・把握していない」の行にチェック(マ)してください。

	平	平成 23 年			平成 24 年							
	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5 月	6月	7月	8月	9月
A 貴施設												
B 自宅(貴施設の短期入所療養介護も含む)												
C 医療機関												
D 上記 ABC 以外												
E 不明・把握していない												

	平成 24 年			平成 25 年								
	10 月	11 月	12 月	1月	2 月	3 月	4月	5 月	6月	7月	8月	9月
A 貴施設												
B 自宅(貴施設の短期入所療養介護も含む)												
C 医療機関												
D 上記 ABC 以外												
E 不明・把握していない												

3. 基準日(平成25年10月1日)現在の利用者の状態像

問9 性別[O1つ]	01 男 02 女	問 10 年齢	満	<u></u>	年●月●日時点)
問 11 要介護度	01 要介護 1	02 要介護 2	03 要介護	3	04 要介護 4
[012]	05 要介護 5	06 不明	27/10		30,71 %
問 12 認知症高	01 自立 0		a 04	1 II b	05 IIIa
齢者の日常生活自	06 III b 0			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	oo mu
立度【01つ】					
問 13 障害高齢 者の日常生活自立	01 自立 0	2 J1 03 J	2 04	1 A 1	05 A2
度【01つ】	06 B1 0	7 B2 08 C	1 09	9 C2	10 不明
問 14 主観的健	01 とてもよい 0	2 よい 03 あま	りよくない (14 + < tal.)	05 不明
康感 [01つ]		2 6 7	7 & \ '&\ '		03 11001
問 15 治療の有 無 [O1つ]	01 あり 0	2 なし 03 オ	明		
問 16 痛み[01	日常生活に支障のあ	る痛み 01 あ		02 ない	03 不明
っ] 問 17 ADL					
「AVEそれぞれ		1.自立 02.見 ′ 1.自立 02.見 ′	-	3. 一部介助 3. 一部介助	04 . 全介助 04 . 全介助
該当箇所に〇】					04. 全介助
DV-1011-01		1.自立 02.見 ´ 1.自立 02.見 ´		3. 一部介助	04. 全介助
			-		04. 全介助
問 18 IDAL		1.自立 02.見 ′	79 03	3. 一部介助	
ID TO IDAL 【A~M それぞれ	Aバスや電車を使って			01. はい	02. いいえ 02. いいえ
該当箇所に〇】	B日用品の買い物が			01. はい	
D D. - 0.1	C自分で食事の用意	_		01. はい 01. はい	02. いいえ
	D請求書の支払がで				02. いいえ
	E銀行預金・郵便貯金			01. はい	02. いいえ
	F年金などの書類が	上に		01. はい	02. いいえ
	G新聞を読んでいる	. 7		01. はい	02. いいえ
	H本や雑誌を読んでし			01. はい	02. いいえ
	健康についての記事			01. はい 01. はい	02. いいえ 02. いいえ
	K家族や友達の相談 L病人を見舞うことが			01. はい 01. はい	02. いいえ 02. いいえ
				01. はい	02. いいえ
明 10 医病加墨	M若い人に自分から01看取り期のケフ		7 るにトス労美英畑		
問 19 医療処置 【該当全てにO】		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	ろうによる栄養管理		
	04 中心静脈栄養		カテーテルの管理		人工肛門(ストーマ)のケア
	07 たんの吸引	08 ネプライ			酸素療法(酸素吸入)
	10 気管切開のケフ				注射・点滴
	13 インスリン注射		1		褥瘡の処置
	16 服薬管理	17 透析			導尿 (2) (3)
	19 疼痛管理	20 浣腸			摘便
問 20 傷病	22その他(01高血圧	02 脳卒中(脳	 出血・脳梗塞等)		なし 心臓病
【該当全でに〇】	04 糖尿病	,			
	.,		に能質異常)		呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)
	07 胃腸・肝臓・胆の 10 外傷(転倒・骨				語骨格の病気(骨粗しょう症、関節炎等) 血液・免疫の病気
	10 外傷(転倒・作 13 うつ病		「生物) レツハイマー病等)		皿似・光及の病気 パーキンソン病
	13 りつ病 16 目の病気	14 ^{総対症(}) 17 耳の病気		15	/・ インノン7円
	18 日の病気 18 その他(1/ 中切物>	•) 19	tal.)
問 20-1 これらの		の入所の原因となった疾	串	(例)	02
		の1つの番号を右に記入	·-	(179)	V <i>L</i>

【平成24年度効果検証⑤ (継続)】(別紙4-4)

問 21 認知症の		入所時		現在
周辺症状【A~F	A 世話を拒否する	有・無・不明	\Rightarrow	有・無・不明
の「入所時」「現在」 それぞれ該当箇所 に〇】	B 興奮して手足を動かす	有・無・不明	\Rightarrow	有・無・不明
	C 理由なく金切声をあげる	有・無・不明	\Rightarrow	有・無・不明
	D 食べ過ぎる	有・無・不明	\Rightarrow	有・無・不明
	E 日中屋外や屋内をうろつきまわる	有・無・不明	\Rightarrow	有・無・不明
	F 同じことを何度も聞く	有・無・不明	\Rightarrow	有・無・不明

4. 基準日現在(平成25年10月1日)の利用者の周辺環境

問 22	世帯構成[01	01	独居世帯	02	夫婦のみの世帯
つ]		03	その他同居(65歳以上のみ)	03	その他同居(それ以外)
		05	不明		
問 23		01	常時介護できる人がいる	02	時間帯によっては、介護できる人がいる
【01つ	1	03	介護できる人がいない	04	不明
問 24 【O1っ	利用者負担段階]	01	減免あり 02 減免	色なし	03 不明
問 25	経済的な余裕	01	余裕があるように見受けられる	02	余裕がないように見受けられる
(職員 つ)	の印象) [01	03	どちらともいえない	04	不明・判断できない
問 26	住まい[O1っ]	01	持家	02	民間賃貸住宅
		03	公営賃貸住宅(市・県営、都市機構、公社等	等) 04	借間
		05	その他	06	不明

5. 基準日現在(平成25年10月1日)の退所見込等

問27 本人の退所先	01	意思表示困難	02	このまま老健にいたい	03	自宅(親族の家等も含む)
希望 [01つ]	04	特別養護老人ホーム	05	有料ホーム、サ高住、GH	06	04.05 以外の施設
	07	病院に入院	80	把握していない	09	その他 ()
問28 家族の退所先	01	特に希望なし	02	このまま老健にいたい	03	自宅(親族の家等も含む)
希望 [01つ]	04	特別養護老人ホーム	05	有料ホーム、サ高住、GH	06	04.05 以外の施設
	07	病院に入院	80	把握していない	09	その他 ()
問 29 特養への申込 [O1つ]	01	している	02	していない	03	不明
問30 特養以外の施 設への申込[O1つ]	01	している	02	していない	03	不明

	問 31 退所見込(貴 施設の判断)[O1つ]	01	退所の見込がある	02	退所の見込はない	03	どちらともいえない	
--	----------------------------	----	----------	----	----------	----	-----------	--

(「01退所の見込みがある」場合のみご記入ください)

問 32 退所予定時期	01	3 か月以内	03	3 か月~6 か月以内
[010]	04	6 か月~1 年以内	04	1年以上
問 33 想定される退	01	自宅	02	特別養護老人ホーム
所先(該当全てにO)	03	特養以外の介護施設等	04	療養病床
[01つ]	05	一般病床	06	その他 ()

問 34 退所に対し て、これまでに実施	内容	実施したことが ある	実施したことが ない
したこと	A 本人・家族と、退所先・退所時期に関する相談		
	B自宅に退所した場合に利用できるサービスの説明		
	C退所後に入所する住宅、施設等の紹介		

入所者票は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査(平成25年度調査)介護者人保健施設の在宅復帰支援に関する調査研究

【③退所者票】(案)

- ■この【③退所者票】は、<u>平成25年7月~平成25年9月の3ケ月間に貴施設を退所した利用者(ショートステイ利用者を除く)</u>について、<u>施設職員の方</u>にご記入いただくものです。
- ■退所者は、退所先にかかわらず(死亡退所も含む)、最大5名を調査対象としてください。3か月間の退所者が5名を超える場合は、9月末日からさかのぼって5名を対象としてください。
- ■この【③退所者票】は、看護・介護職員、ケアマネジャー、相談員等でご協力の上、ご記入ください。

1. 入所時の状況

連番記入欄

【管理上必要な場合のみ記入】

問1 入所時期	(平成) 年 月							
問 2 入所前の	1. 自宅	2. 医療機関	3. 施設等					
居所 [1~3 のいず れかにO	↓	↓ (以下のいずれかに○)↓ (以下のいずれかに○)						
163.120	【問 4 ~】	21 回復期リハ病床	31 特別養護老人ホーム					
		22 亜急性期病床	32 他の老人保健施設					
		23回復期・亜急性期以外の一般病床	33 有料ホーム・サ高住・GH					
		24 介護療養病床	34 上記以外の施設					
		25回復期・介護療養以外の療養病床 ↓						
		26病床不明、上記以外の病床	【問 4 ~】					

「2. 医療機関」の場合のみ記入 ▼

 問3 入院の原因となっていた疾患 [該当全てにO]
 01 肺炎 04 外傷(転倒・骨折)

02脳卒中(脳出血・脳梗塞等)03骨関節疾患05がん(新生物)06心臓病

07 認知症 (アルツハイマー病等) **08**

08 パーキンソン病関連疾患 09 その他

問 4 入所前の	(1)入所	01 なし (今回初めて)	02	1回	あり	03 2回以	以上あり	04	不明
貴施設の利用実 績 [O1つ]	(2)通所	01 利用実績あり	02	利用集	 種なし	03 不明		04	通所施設なし
問 5 入所の状況 【O1 つ】	01 緊急入	所	02 計画	前的なえ	入所		03 01	.02 Ng	[*] れでもない
問 6 入所目的	<本ノ	の事情>↓【該当	全てに〇】			<家族の	事情>↓	【該当全で	[[0]
【本人の事情・家族 の事情それぞれ該	11 リハビ	゛リテーション			21 介護	養者の急病	、疲労		
当全てに〇】	12 生活場	所未定のため、とり	あえずの入	所	22 レス	パイト			
	13 他施設	への入所待ち			23 介護	養者による	虐待		
	14 病気の	療養			24 自宅	三介護の困	難		
	15 リピー	・ト利用							
	16 病状の	不安定							
	17 ターミ	ナルケア							
問 7 入所時の	本人・家族	と退所時期につい	て相談			01 した	_	02しなか	た 03 不明
アセスメント	入所中の治	療・リハ計画、達	成目標を	設定		01 した	_	02しなか	た 03 不明
[01つ]	本人・家族	の退所後の生活場	所の希望	を聴取		01 した	_	02しなか	た 03 不明

2. 直近2年間の利用者の居所

(おわかりになる範囲でご記入ください。ご本人やご家族に確認する必要はありません。)

問8 <u>平成23年10月~平成25年9月の2年間のご本人の居所</u>について、以下の該当する箇所にチェック (✓) をつけてください。

貴施設が<u>把握されていない期間については、「E 不明・腔慢していない」の行にチェック (✓)</u>をつけてください。 月の途中の移動等は厳密に考えず、重複させても、前後の月に寄せていただいても、結構です。

অেরেরেরের 【記入例】 অেরেরেরের

平成 22 年頃から平成 24 年 7 月までグループホームに入所していた。

体調悪化のため、平成24年7月に入院、平成24年12月に退院。

平成 25 年 1 月から当施設(老健)に入所し、平成 25 年 8 月に退所して、特養に入所。

	平	成 23	年				平	成 24	年			
	10 月	11 月	12 月	1月	2月	3月	4月	5 月	6月	7月	8月	9月
A 貴施設												
B 自宅(貴施設の短期入所療養介護も含む)												
C 医療機関										✓	✓	✓
D 上記 ABC 以外	1	1	✓	1	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
E 不明・把握していない												

	平	成 24	年	平成 25 年								
	10月	11月	12月	1月	2月	3 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
A 貴施設				1	1	1	✓	✓	✓	✓	✓	
B 自宅(貴施設の短期入所療養介護も含む)												
C 医療機関										✓	✓	✓
D 上記 ABC 以外												✓
E 不明・把握していない												

യയയയയ 【記入欄】 യയയയയ

該当箇所にチェック(マ)を入れてください。わからない場合は、「E 不明・把握していない」の行にチェック(マ)してください。

	平	平成 23 年			平成 24 年								
	10月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5 月	6月	7月	8月	9月	
A 貴施設													
B 自宅(貴施設の短期入所療養介護も含む)													
C 医療機関													
D 上記 ABC 以外													
E 不明・把握していない													

	平	成 24	年				平	成 25	年			
	10月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5 月	6月	7月	8月	9月
A 貴施設												
B 自宅(貴施設の短期入所療養介護も含む)												
C 医療機関												
D 上記 ABC 以外												
E 不明・把握していない												

3. 退所直前の利用者の状態像

0. 区历巨的0777					
問9 性別 [O1つ]	01 男 02 5	时 10 年齢	満	歳(退所時点)	
問11 要介護度[O	01 要介護 1	02 要介護	2 03 要分	介護 3 04	要介護 4
10]	05 要介護 5	06 不明			
問 12 認知症高齢	01 自立	02 I	03 II a	04 II b	05 IIIa
者の日常生活自立					
度 [O1つ]	06 Ⅲ b	07 IV	08 M	09 不明	
問 13 障害高齢者	01 自立	02 J1	03 J2	04 A 1	05 A2
の日常生活自立度	06 B1	07 B2	08 C1	09 C2	10 不明
[010]	00 BI	U7 BZ	06 CI	U9 C2	10 作奶
問 14 主観的健康	01 とてもよい	02 よい	03 あまりよくない	04 よくない	05 不明
感 [O1つ]	_				
問 15 治療の有無 【O1つ】	01 あった	02 なかった	03 不明		
問 16 痛み[O1つ]	日常生活に支障のあ		01 あった	02 なかった	03 不明
問 17 ADL	A移動	01.自立	02. 見守り	03. 一部介助	04. 全介助
【A~Eそれぞれ	B食事	01.自立	02.見守り	03. 一部介助	
該当箇所に〇】					
BX = BX 1 = 0 2	C排泄	01.自立	02.見守り	03. 一部介助	04. 全介助
	D入浴	01.自立	02.見守り	03. 一部介助	04. 全介助
	E着替え	01.自立	02.見守り	03. 一部介助	04. 全介助
問 18 IDAL【A~	Aバスや電車を使っ		5	01. はい	02. いいえ
M それぞれ該当箇	B日用品の買い物か	できる		01. はい	02. いいえ
所に〇】	C自分で食事の用意	ができる		01. はい	02. いいえ
	D請求書の支払がで	きる		01. はい	02. いいえ
	E銀行預金·郵便貯	金の出し入れができ	る	01. はい	02. いいえ
	F年金などの書類が	書ける		01. はい	02. いいえ
	G新聞を読んでいる			01. はい	02. いいえ
	H本や雑誌を読んで			01. はい	02. いいえ
	I健康についての記事		.	01. はい	02. いいえ
	J友達の家を訪ねる			01. はい	02. いいえ
	K家族や友達の相談			01. はい	02. いいえ
	L病人を見舞うことが			01. はい	02. いいえ
			7		
99 40 F + 10 F	M若い人に自分から			01. はい	02. いいえ
問 19 医療処置 【該当全てにO】	01 看取り期のケ		う・腸ろうによる栄養管理		
【談画主(にひ)	04 中心静脈栄養		(留置) カテーテルの管理		門 (ストーマ) のケア
	07 たんの吸引		プライザー	09 酸素	療法(酸素吸入)
	10 気管切開のケ	ア 11 人	L呼吸器の管理	12 注射	・点滴
	13 インスリン注	射 14 創作		15 褥瘡	の処置
	16 服薬管理	17 透析	沂	18 導尿	
	19 疼痛管理	20 浣朋	易	21 摘便	
	22 その他() 23 なし	
問 20 傷病	01 高血圧	02 脳卒		03 心臓	 病
【該当全てに〇】	04 糖尿病		指血症 (脂質異常))病気 (肺炎や気管支炎等)
	07 757/79 07 胃腸・肝臓・胆のう(職・前立腺の病気		病気 (骨粗しよう症、関節炎等)
	10 外傷(転倒・		は、前立旅りがえている(新生物)		・免疫の病気
			症(アルツハイマー病等)	15 //-	キンソン病
	16 目の病気	17 耳0	の病気	10 2.	
BB 00 1 = 1-2 0	18 その他(- -) 19 ない	02
)傷病のうち、貴施設へ		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(何)	02
(上記101	」~「18」のうち <u>主なも</u>	<u>の1つの番号</u> を右に	記入し(ください)		

【平成24年度効果検証⑤(継続)】(別紙4-5)

問 21 認知症の周		入所時		退所時
辺症状【A~F の	A 世話を拒否する	有・無・不明	\Rightarrow	有・無・不明
「入所時」「退所	B 興奮して手足を動かす	有・無・不明	\Rightarrow	有・無・不明
時」それぞれ該当 箇所に〇】	C 理由なく金切声をあげる	有・無・不明	\Rightarrow	有・無・不明
固別にひ】	D 食べ過ぎる	有・無・不明	\Rightarrow	有・無・不明
	E 日中屋外や屋内をうろつきまわる	有・無・不明	\Rightarrow	有・無・不明
	F 同じことを何度も聞く	有・無・不明	\Rightarrow	有・無・不明

4. 退所時の利用者の周辺環境

FF 00	111 444 144 15		71 ⊟ III #F				1.13	- 111 -		
問 22	世帯構成[01	01	独居世帯			02	夫婦のみ	の世界	T	
つ】		03	その他同居(65歳以上の)み)		03	その他同	居(そ	それ以外)	
		05	不明							
問 23		01	常時介護できる人がいる			02	時間帯に。	はってに	は、介護できる人がいる	
[01=)]	03	介護できる人がいない			04	不明			
問 24	利用者負担段階	01	減免あり	02	減免なし			03	不明	
問 25	経済的な余裕	01	余裕があるように見受け	られる	3	02	余裕がな	いよう	うに見受けられる	
(職員	の印象)	03	どちらともいえない			04	不明・判	断でき	きない	
問 26	住まい	01	持家			02	民間賃貸	住宅		
		03	公営賃貸住宅(市・県営、都市	機構、	公社等)	04	借間			
_		05	その他			06	不明			
問 27	退所先に関す	01	意思表示困難	02	このまま老	健にい	たかった	03	自宅(親族の家等も含む	s)
る本人	の希望	04	特別養護老人ホーム	05	有料ホーム	、サ語	寄住、GH	06	04.05 以外の施設	
		07	病院に入院	80	把握して	いない	1	09	その他()
問 28	退所先に関す	01	特に希望なし	02	このまま老	健にい	たかった	03	自宅(親族の家等も含む	(S)
る家族	の希望	04	特別養護老人ホーム	05	有料ホーム	、サア	高住、 G H	06	04.05 以外の施設	
		07	病院に入院	80	把握して	いない	1	09	その他()
問 29	特養への申込	01	していた	02	していな	かつす	=	03	不明	
問30 設への	特養以外の施)申込	01	していた	02	していな	かった	÷	03	不明	

5. 退所時~退所後の状況

問 31 退所時期	平成 25 年	月	
問 32 退所後、貴施 設へ再入所する予 01 定	L 再入所の予定があった 02	再入所の予定は なかった	03 不明
問 33 退所先【1~4いる	ずれかにO】		
1. 自宅に退所	2. 医療機関に退所	3. 施設等に退所	4. 死亡退所
	↓(以下のいずれかに○)	↓ (以下のいずれかに○)	
	21 回復期リハ病床	31 特別養護老人ホーム	
	22 亜急性期病床	32 他の老人保健施設	
	23回復期・亜急性期以外の一般病床	33有料ホーム・サ高住・GH	
	24 介護療養病床	34 上記以外の施設	
	25回復期・介護療養以外の療養病床		
	26病床不明、上記以外の病床		









「1. 自宅に退所」「2. 医療機関に退所」 の利用者については、次頁の該当箇所について、 貴施設がご存知の情報をご記入ください。 「3. 施設等に退所」「4. 死亡退所」 の利用者については、調査はここで終了です。 ご協力いただきまして、ありがとございました。

このページは、「1. 自宅に退所」した人、「2. 医療機関に退所」した人の退所後の状況について、 貴施設が把握している範囲の情報を記入してください。

1. 自宅に退所した人

問 34	自宅退所後、本	本人が	利用	 しているサービスを	把握して	ています	か		
01	<u> 把握している</u> 【=	⇒問 3	5 ~]		0	2 把握	していない【⇒	問 36 ^	\]
	(「01 把握してい	る」:	場合の	みご記入ください)				
	問 35 サー					訪問入浴			訪問看護
	ビス内容			リハビリテーション			養管理指導	06	
				リハビリテーション			听生活介護		短期入所療養介護
				用具貸与			业用具販売		夜間対応型訪問介護
				症対応型通所介護	14	住宅改作	爹	15	その他(
		16	介護保	険給付外の在宅サービス	()
問 36	自宅退所後、ス	本人の	居所等	<u>等の変化</u> ※はありま	したか	【01つ】			
			※ショ	一トステイは「自	宅にいる	う」ものと	とし、居所の移動	動に含め	ないでください。
	居所の移動あり		02	居所の移動なし	0	3 お亡	くなりになった	04	把握していない
[:	⇒問 37,38 △】			【⇒調査終了】		【⇒調査	監終了 】		【⇒調査終了】
	1			場合のみご記入く					
	問 37 移動			(貴施設)	_	, <u></u>	以外の老健	03	病院
	先【O1つ】	04	特別	養護老人ホーム	05	その他			
\rightarrow	問 38 自宅		< 本	人の事情>↓ [該当	全てに〇	1	<家族の)事情>	↓ 【該当全てにO】
	から移動した	11		当初からの予定			21 レスパイ		
	事情・理由【本人・家族の事	12		の不安定・悪化			22 介護者の		
	情該当全てに	13		していた施設の空き			23 家族の希		
	O]	14		サービス不十分で目	自宅生活	困難	24 居宅サー	ビス不-	十分で家族介護困難
	01	15	本人	の希望					
	・医療機関に退								
問 39	貴施設を退所征		、院する	ることとなった原因					
問 39	貴施設を退所 御		<mark>院する</mark> 02	脳卒中(脳出血・脳梗塞等	等) 0	3 骨関	節疾患		外傷(転倒・骨折)
問 39 01 05	貴施設を退所 肺炎 がん(新生物)		<mark>院する</mark> 02		等) 0	3 骨関			外傷(転倒・骨折) パーキンソン病関連疾患
問 39 01 05 09	貴施設を退所 肺炎 がん(新生物) その他(发、入	院する 02 06	脳卒中(脳出血・脳梗塞 心臓病	等) O O	3 骨関節7 認知症	節疾患		
問 39 01 05 09	貴施設を退所 肺炎 がん(新生物) その他(发、入	院する 02 06	脳卒中(脳出血・脳梗塞等	等) O O	3 骨関節7 認知症	節疾患		
問 39 01 05 09 問 40	貴施設を退所 肺炎 がん(新生物) その他(发、入	院する 02 06 医療	脳卒中(脳出血・脳梗塞 心臓病	等) 0 0 4全でに(3 骨関的7 認知症	節疾患	08	
問 39 01 05 09 問 40 01	貴施設を退所 肺炎 がん(新生物) その他(入院の原因と な	後、入	院する 02 06 医療 02	脳卒中(脳出血・脳梗塞等 心臓病 心置の必要性【該当 経管栄養(胃ろう・腸ろう・	等) 0 0 4全でに(・経鼻) 0	3 骨関的 7 認知症 O】 3 中心的	節疾患 (アルツハイマー病等)	08	パーキンソン病関連疾患
問 39 01 05 09 問 40 01 05	貴施設を退所 が 肺炎 がん(新生物) その他(入院の原因と な	後、入	02 06 医療 02 06	脳卒中(脳出血・脳梗塞等 心臓病 心置の必要性【該当 経管栄養(胃ろう・腸ろう・	等) 0 0 4全でに(経鼻) 0	3 骨関で 7 認知症 O】 3 中心で 7 ネプ	節疾患 (アルツハイマー病等) 静脈栄養	08) 04 08	パーキンソン病関連疾患 膀胱 (留置) カテーテル
問 39 01 05 09 問 40 01 05 09	貴施設を退所 が 肺炎 がん(新生物) その他(入院の原因とな 看取り期のケア 人工肛門(ストー 気管切開	後、人 なった	02 06 医療 9 02 06 10	脳卒中(脳出血・脳梗塞 心臓病 心臓の必要性【該当 経管栄養(胃ろう・腸ろう・ たんの吸引	等) 0 0 4全でに 経鼻) 0 0 1	3 骨関で 7 認知症 O】 3 中心で 7 ネプ	節疾患 (アルツハイマー病等) 静脈栄養 ライザー	08) 04 08	パーキンソン病関連疾患 膀胱 (留置) カテーテル
問 39 01 05 09 問 40 01 05 09	貴施設を退所を 肺炎 がん(新生物) その他(入院の原因とな 看取り期のケア 人工肛門(ストー 気管切開 医療処置が必要な	後、入 なった ーマ)	院する 02 06 2 02 06 10 0に入り	脳卒中(脳出血・脳梗塞 心臓病 心置の必要性【該当 経管栄養(胃ろう・腸ろう・ たんの吸引 人工呼吸器	等) 0 0 4全でに(経鼻) 0 0 1	3 骨関的 7 認知症 O】 3 中心的 7 ネプ 1 そのか	節疾患 (アルツハイマー病等) 静脈栄養 ライザー 他の医療処置(08) 04 08	パーキンソン病関連疾患 膀胱 (留置) カテーテル
問 39 01 05 09 問 40 01 05 09 12 問 41	貴施設を退所を 肺炎 がん(新生物) その他(入院の原因とな 看取り期のケア 人工肛門(ストー 気管切開 医療処置が必要な	後、入 なった ーマ)	院する 02 06 2 6 02 06 10 た入園	脳卒中(脳出血・脳梗塞 心臓病 心置の必要性【該当 経管栄養(胃ろう・腸ろう・ たんの吸引 人工呼吸器 完したわけではない	等) 0 0 3全でに(経鼻) 0 1	3 骨関的 7 認知症 O】 3 中心的 7 ネプロ 1 その句	節疾患 (アルツハイマー病等) 静脈栄養 ライザー 他の医療処置(08) 04 08	パーキンソン病関連疾患 膀胱 (留置) カテーテル
問 39 01 05 09 問 40 01 05 09 12 問 41	貴施設を退所を 肺炎 がん(新生物) その他(入院の原因となる 看取り期のケア 人工肛門(ストー 気管切開 医療処置が必要な 医療機関に入	後、入 なった ーマ)	院する 02 06 2 6 02 06 10 た入園	脳卒中(脳出血・脳梗塞 心臓病 心置の必要性【該当 経管栄養(胃ろう・腸ろう・ たんの吸引 人工呼吸器 完したわけではない の居所等の変化はあ	等) 0 0 3全でに(経鼻) 0 1	3 骨関的 7 認知症 3 中心的 7 ネプ 1 その句 たか【〇 3 お亡	節疾患 (アルツハイマー病等) 静脈栄養 ライザー 他の医療処置(1つ】	08) 04 08	パーキンソン病関連疾患 膀胱 (留置) カテーテル 酸素療法 (酸素吸入)
問 39 01 05 09 問 40 01 05 09 12 問 41	貴施設を退所 肺炎 がん(新生物) その他(入院の原因と 看取り期のケア 人工肛門(ストー 気管切開 医療処置が必要が 医療機関に入り 居所の移動あり 【⇒問 37,38~】	後、入なったーマ)	に入り (院する) (10)	脳卒中(脳出血・脳梗塞・ 心臓病 心置の必要性【該当 経管栄養(胃ろう・腸ろう・ たんの吸引 人工呼吸器 完したわけではない の居所等の変化はあ 居所の移動なし	等) 0 0 4全でに(経鼻) 0 1 い りました	3 骨関的 7 認知症 3 中心的 7 ネプ 1 その句 たか【〇 3 お亡	節疾患 (アルツハイマー病等) 静脈栄養 ライザー 他の医療処置(1つ】 くなりになった	08) 04 08	パーキンソン病関連疾患 膀胱(留置)カテーテル酸素療法(酸素吸入))
問 39 01 05 09 問 40 01 05 09 12 問 41	貴施設を退所 肺炎 がん(新生物) その他(入院の原因と 看取り期のケア 人工肛門(ストー 気管切開 医療処置が必要が 医療機関に入り 居所の移動あり 【⇒問 37,38~】	後、入なったーマ)	に入り の2 の6 02 06 10 かに入り 本人の 02	脳卒中(脳出血・脳梗塞等 心臓病 匹置の必要性【該当 経管栄養(胃ろう・腸ろう・ たんの吸引 人工呼吸器 完したわけではない の居所等の変化はあ 居所の移動なし 【⇒調査終了】	等) 0 0 4全でに(経鼻) 0 0 1 い 0 がさい)	3 骨関的 7 認知症 O】 3 中心的 7 ネプ 1 その位 をか【O 3 お亡 【→訓	節疾患 (アルツハイマー病等) 静脈栄養 ライザー 他の医療処置(1つ】 くなりになった	08) 04 08	パーキンソン病関連疾患 膀胱(留置)カテーテル 酸素療法(酸素吸入)) 把握していない 【⇒調査終了】
問 39 01 05 09 問 40 01 05 09 12 問 41	貴施設を退所 肺炎 がん(新生物) その他(入院の原因と 看取り期のケア 人工肛門(ストー 気管切開 医療処置が必要が 医療機関に入り 居所の移動あり 【⇒問 37,38~】 (「01 居所の移 問 42 移動 先【〇1 つ】	後、入 なった。 でなった。 完後、 動あり 0104	院する 02 06 02 06 10 に入り 本人の 02 り」の 他の	脳卒中(脳出血・脳梗塞・ 心臓病 心置の必要性【該当 経管栄養(胃ろう・腸ろう・ たんの吸引 人工呼吸器 完したわけではない D居所等の変化はあ 居所の移動なし 【⇒調査終了】 場合のみご記入くす (貴施設) 医療機関	等) 0 0 4全でに(経鼻) 0 1 1 5りました 0	3 骨関的 7 認知症 3 中心的 7 ネプ 1 そのの 3 お亡 【⇒訓	節疾患 (アルツハイマー病等) 静脈栄養 ライザー 他の医療処置(1つ】 くなりになった 関査終了】 以外の老健 護老人ホーム	08) 04 08 04 03 06	パーキンソン病関連疾患 膀胱(留置)カテーテル 酸素療法(酸素吸入)) 把握していない 【⇒調査終了】 自宅 その他
問 39 01 05 09 問 40 01 05 09 12 問 41	貴施設を退所 肺炎 がん(新生物) その他(入院の原因と 看取り期のケア 人工肛門(ストー 気管切開 医療機関に入 居所の移動あり 【⇒問 37,38~】 (「01 居所の移 問 42 移動 先【〇1 つ】 問 43 医療	後、入 なった。 った。 完後、 動あ。 01 04 11	院する 02 06 02 06 10 に入る 02 り」の を他の院	脳卒中(脳出血・脳梗塞等 心臓病 心置の必要性【該当 経管栄養(胃ろう・腸ろう・ たんの吸引 人工呼吸器 完したわけではない の居所等の変化はあ 居所の移動なし 【⇒調査終了】 場合のみご記入くす (貴施設) 医療機関 当初からの予定	等) 0 0 4全でに(経鼻) 0 1 1 5りました 0	3 骨関的 7 認知症 3 中心的 7 ネプ 1 そのの 3 お亡 【⇒訓	節疾患 (アルツハイマー病等) 静脈栄養 ライザー 他の医療処置(1つ】 くなりになった 間査終了】 以外の老健 護老人ホーム 12 病状の安	08) 04 08 04 04 03 06 定、改	パーキンソン病関連疾患 膀胱(留置)カテーテル 酸素療法(酸素吸入)) 把握していない 【→調査終了】 自宅 その他
問 39 01 05 09 問 40 01 05 09 12 問 41	貴施設を退所 肺炎 がん(新生物) その他(入院の原因と 看取り期のケア 人工管切開 医療機関に入 居所の移動あり 【⇒問37,38~】 (「01 居所の移 問42 移動 先【O1 つ】 問43 医療 機関から移動	後、入 なった。 なった。 完後、 動あ 01 04 11 13	院する 02 06 02 06 10 02 06 10 02 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	脳卒中(脳出血・脳梗塞等 心臓病 心置の必要性【該当 経管栄養(胃ろう・腸ろう・ をを受験の吸引 人工呼吸器 完したわけではない の居所等の変化はあ 居所の移動なし 【⇒調査終了】 場合のみご記入くす (貴施設) 医療機関 当初からの予定 の不安定、悪化	等) 0 0 0 4全でに(経鼻) 0 0 1 い 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	3 骨関的 7 認知症 3 中心的 7 ネのの 1 そのの 3 お亡 【⇒訓 特別養言	節疾患 (アルツハイマー病等) 静脈栄養 ライで療処置(1つ】 くなりになった 個査終了】 以外の老健 護老人ホーム 12 病状の安 14 長期的な	08) 04 08 04 04 03 06 定、改記 ケアが	パーキンソン病関連疾患 膀胱(留置)カテーテル酸素療法(酸素吸入) 世握していない 【→調査終了】 自宅 その他 を と要となった
問 39 01 05 09 問 40 01 05 09 12 問 41	貴施設を退所 肺炎 がん(新生物) その他(入院の原因と 看取り期間のケストー 気管処理が必要が 医療機関に入り 【⇒問37,38へ】 (「01 居所の移動 【「01 居所の移動 先【O1つ】 問42 移動 先【O1つ】 問43 を移動 した事物	後、入 なった。 なった。 完後、 動あ 01 04 11 13	院する 02 06 02 06 10 02 06 10 02 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	脳卒中(脳出血・脳梗塞等 心臓病 心置の必要性【該当 経管栄養(胃ろう・腸ろう・ たんの吸引 人工呼吸器 完したわけではない の居所等の変化はあ 居所の移動なし 【⇒調査終了】 場合のみご記入くす (貴施設) 医療機関 当初からの予定	等) 0 0 0 4全でに(経鼻) 0 0 1 い 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	3 骨関的 7 認知症 3 中心的 7 ネのの 1 そのの 3 お亡 【⇒訓 特別養言	節疾患 (アルツハイマー病等) 静脈栄養 ライで療処置(1つ】 くなりになった 個査終了】 以外の老健 護老人ホーム 12 病状の安 14 長期的な	08) 04 08 04 04 03 06 定、改記 ケアが	パーキンソン病関連疾患 膀胱(留置)カテーテル 酸素療法(酸素吸入)) 把握していない 【→調査終了】 自宅 その他
問 39 01 05 09 問 40 01 05 09 12 問 41	貴施設を退所 肺炎 がん(新生物) その他(入院の原因と 看取り期のケア 人工管切開 医療機関に入 居所の移動あり 【⇒問37,38~】 (「01 居所の移 問42 移動 先【O1 つ】 問43 医療 機関から移動	後、入 なった。 なった。 記を後、 動の1 04 11 13 15	院する 02 06 02 06 10 02 06 10 02 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	脳卒中(脳出血・脳梗塞等 心臓病 心置の必要性【該当 経管栄養(胃ろう・腸ろう・ たんの呼吸器 完したわけではない の居所等の変化はあ につまする。 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	等) 0 0 0 4全でに(経鼻) 0 0 1 い 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	3 骨関的 7 認知症 3 中心的 7 ネのの 1 そのの 3 お亡 【⇒訓 特別養言	節疾患 (アルツハイマー病等) 静脈栄養 ライで療処置(1つ】 くなりになった 個査終了】 以外の老健 護老人ホーム 12 病状の安 14 長期的な	08) 04 08 04 04 03 06 定、改記 ケアが	パーキンソン病関連疾患 膀胱(留置)カテーテル酸素療法(酸素吸入) 世握していない 【→調査終了】 自宅 その他 を と要となった

退所者票は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。